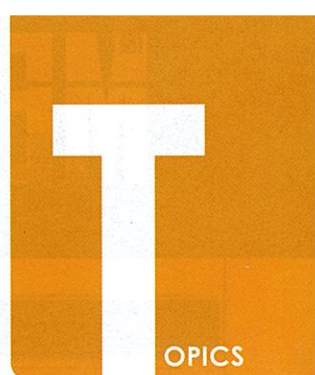


Foodex Japan 2016 国産食肉を訴求する 首都圏食肉卸事業組合が出店



「Foodex Japan 2016」が幕張メッセで3月11日まで開催された。そのうち首都圏食肉卸売業者協同組合のブースでは、スターゼングループ、小川グループ、タカノ、ミートコンパニオンが共同で熟成肉を訴求。国産和牛、国産交雑牛、国産乳牛、国産豚、さらに熟成肉を使用した「ハンバーグ」「牛丼」「ローストビーフ」を提案した。

また、杉本食肉産業は、氷温熟成させた黒毛和牛を使用した



「ブルコギ」を訴求。電子レンジで簡単に調理が可能であり、氷温熟成させることで肉のうまみをアップさせている。グローバルピッグファームは「和豚もちぶ



た」の骨付き肉、ハム・ソーセージなどの加工品を提案。会場ではいずれのブースでも来場者に試食が提供され、長蛇の列ができた。